

できたぞ!! 僕らのガラスモザイク絵

—二年がかりの大作

無形文化財の「鬼来迎」 公民館で除幕式

光中生徒により 虫生広済寺に鎌倉時代(約二百五十年前)から伝わる「鬼来迎」の一こまを描いたガラスモザイク絵が二年がかりでこのほど完成、公民館に寄贈され、五日除幕式が行われた。

光中は、作業学習の版画で全国的に名を知られ、毎年制作している版画カレンダーは外国からも注目されている。今度のモザイク画の制作は鶴岡信嗣先生、勝股和子先生の指導により四十九年夏から

準備にかかり十二月から制作にとりかかった。

画題に「鬼来迎」を選んだのは生徒に郷土を理解してもらうのがねらいであり、生徒たちは、広済寺にいつて面の写生をしたり、衣



製作にあたった先生と生徒
▲完成したみことな作品
(公民館ロビーで)

装や8ミリ映画を見るなどして勉強、勝股和子先生がキャンバスに下絵を描き張絵の色紙の代わりにガラスの破片にポスターカラーで色をつけさらにニスを使って色止めをすると云う手のこんだもの。使った色は 赤・黒・黄・や金色などざっと十四、五色。

「本番」はこれからで色づけしたガラスの破片を下絵に合せて三角や四角に切り接着剤で張りつけて作ったがなにしろタテ二び、ヨコ三びの大作だけに大変。

はじめてガラスを教材にしただけにうまく合わずに浮き上ってしまったり、はがれてしまったりして何度も何度もやり直しをしたという。こうして出来た労作は、その光沢が画題にふさわしく迫力万点で「スゴイ」と見る人を驚かせている。



ウワッ!! おいしそうだな

おいしい おくりもの

|| とうもろこし二百キロ ||

<東陽小>

六月二十六日、とりたてのトウモロコシ二百キロ(約四百五十本)が東陽小のよい子にプレゼントされた。

これは、光農協園芸部東陽支部(越川良一支部長)が「母校のよい子にうれしいトウモロコシを」と今年をはじめ収穫したトウモロコシを出荷する前に届けたもので

朝早くトラックで知びこまれた八キロ入二十五袋のトウモロコシは、大木輝夫PTA会長ほか役員十二人が一本々々ていねいに皮を

むき給食用の大きなカマで真黄色にゆであげお昼に全生徒三百八十六人に一本づつ配られた。

「今年トウモロコシ喰うのはじめてだ、まいなア。おじさんどうもありがとう」と云うのももどかしげにトウモロコシを口一ぱいにほおばっていた。

「子ども達の喜ぶ姿はいつみてもいいものです。越川支部長に感謝します」PTA会長、役員のみなさんもニコニコ顔で話していました。

くらしのスポット



よう。

片よった食事では、暑さに負けてしまいます。そこで豚肉の大和焼きはいかがでしょう。

豚肉の大和焼きの作り方は、豚肉一人当たり一枚約八十グラム用意し、お砂糖、しょう油、みりん、しょうが汁を合せた中につけておきます。そして油を熱したフライパンで豚肉を両面いため焼きして浸し汁も加え、味をからませ、一口ぐらいに切れば出来上ります。

橋場 市川栄子